

《巻頭言》

第11回日本禁煙学会学術総会のご案内

第11回日本禁煙学会学術総会 会長

高橋正行

1. 第11回学術総会

平成29年11月4～5日の2日間、京都テルサにて第11回日本禁煙学会学術総会を開催します。学会のスケジュールは順次ホームページでご案内していきます (<http://www.atalacia.com/jstc/>)。宿泊も完全禁煙ホテルや禁煙フロアのあるホテルを確保しました (<http://www.knt-ec.net/2017/jstc/>)。しかし、屋内完全禁煙という簡単な受動喫煙対策を打ち出しているホテルは少ないことや、斡旋する旅行会社の意識も禁煙フロアで十分とか、実地調査をせずにリストに入れることもありました。国際観光都市である京都・滋賀・大阪・奈良・神戸の宿泊施設の禁煙化については企画の段階で戦闘モードになりました。

第1回の禁煙学会学術総会は田中善紹会長で京都府立医科大学図書館において開催されました。それから10年間で喫煙対策、防煙教育、禁煙治療、受動喫煙防止が大きく進みました。禁煙学会会員数も急激に増加しています。タバコフリー京都には後援頂き、学会の副会長に栗岡先生に参画

頂いております。

第11回学術総会の準備は滋賀の禁煙スタッフで開始しました。副会長の稲本先生が済生会滋賀県病院の敷地内禁煙を実現され、滋賀県の禁煙推進に参画されています。実行委員長の細川先生は近江八幡医療センターで多くの禁煙指導者を育成されています。また、厚生労働省の大型プロジェクト滋賀医科大学アジア疫学センターの上島弘嗣先生には特別講演をお願いしています。

学術総会では理事長講演・特別講演・会長講演・シンポジウム・教育講演・一般講演・ポスター発表・教育セミナー・市民公開講座等を計画しております。特別企画として定着してきましたナースによる禁煙支援のためのセミナー(アフタヌーンセミナー、スイーツセミナー)では抹茶スイーツや滋賀のスイーツの提供を考えています。薬剤師部会や歯科医師部会も立ち上がりましたので、多職種の交流とともに、専門職のパワーアップの場として盛り上げて頂ければありがたく存じます。

表1

学術総会前日	11月3日(祝日)	市民公開講座 理事会・評議員会(総会) 役員懇親会
学術総会開催	11月4日(土)	学会 ランチョンセミナー イブニングセミナー 会員懇親会
学術総会開催	11月5日(日)	学会 認定試験 禁煙治療セミナー

2. テーマと趣旨

第11回学術総会のテーマは「禁煙で伸ばそう健康寿命」とさせて頂きました。タバコによる疾病は多く、ガン・脳卒中・心臓病・COPD・糖尿病が含まれます。また、禁煙学会の特徴は会員の多様性です。そのため、簡単に準備の背景を説明します。

滋賀医科大学では医学部や付属病院の禁煙推進を進める中で、禁煙外来の担当となりゼロからのスタートでした。ついでに病院の敷地内禁煙を進める担当となり、その中で上島弘嗣先生や病院長の森田陸司先生のご指導を受けました。

その後縁あって、びわこ成蹊スポーツ大学で12年間勤務しました。運動や栄養とともに禁煙の重要性を認識したのが、初代学長で学校保健学会理事長の森昭三先生でした。丁度学校の敷地内禁煙を推進されていました。開学直前の会議で敷地内禁煙にしましょうという提案を教職員全体で受け入れて頂き、2003年5月開始の健康増進法発足という絶好のタイミングで「禁煙大学」としてスタートしました。新しいスポーツ大学への関心もあり、新聞記事として多く取り上げて頂き、受験生が増え、定員増へと繋がりました。滋賀県禁煙推進研究会という組織も立ち上げ、滋賀のタクシーの禁煙化や禁煙条例の設立・学校保健での禁煙教育・スポーツ現場での受動喫煙防止などに取り組んできました。保健・体育の教員免許取得希望の学生が多く、禁煙教材や模擬授業・出張授業などの指導を行いました。

全国で禁煙推進をする皆様と楽しく交流させて頂き、そんな中で禁煙学会が設立され、立ち上げメンバーの一人として参加しています。2年前から、京都岡本記念病院で働いています。循環器診療の中で、心臓リハビリテーション部門の立ち上げと柔術を担当しています。スキルの高いカテーテル専門医・不整脈専門医・心臓外科医が治療された後に、2次予防のためにチーム医療で取り組んで

います。リスク軽減の中で直ぐに除去できる喫煙・受動喫煙は病気に陥ったという状況では禁煙したい動機が最大となり、準備状態なしでいきなり敷地内禁煙の入院環境および禁煙実行期に入るといふ禁煙治療では大変特殊な状況です。チーム医療のスタッフには運動指導担当の理学療法士、食生活改善の管理栄養士、看護師、臨床心理士、医療事務、医師など多くの職種が関与します。

今回は滋賀・京都ということで、滋賀医科大学のアジア疫学センターや京都大学EBMセンターなどから公衆衛生領域の情報発信が多くされていますが、特にタバコに関連した講演をお願いしました。1次予防でも2次予防でも寿命や健康寿命を延ばすための禁煙の重要性を再認識できればと思います。

禁煙学会の立ち上げから仲間に入れて頂き、その中で禁煙スキル、運動指導、食事指導を含めた総合的な現場力を高めてきました。それ以上に重要なのが、禁煙法を含む法的整備です。2020年の東京五輪や2024年の滋賀国体に向けての取り組みが重要です。その中で、科学的根拠やエビデンスが重要です。現場力や実践力とともにタバコの有害性についての学びを深めたいと思います。

今回学術総会前日に市民公開講座を企画しました。スポーツとタバコという僕のライフワークと関連しますが、2020年東京五輪や2024年滋賀国体を前にスポーツイベントにおける受動喫煙対策についての企画です。受講されると禁煙サポーターの資格を取得でき、認定試験受験も可能となりますので、新しい会員には是非参加頂ければと思っています。

学会が秋の3連休になりますので、滋賀・京都・大阪・神戸の旅もお楽しみ下さい。魚介類、マツタケ、近江牛、近江米など秋の味覚も楽しめます。実行委員会一同で、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。